



清流NEWS

〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1 Tel 042-514-8309
発行日 1月・7月

Vol.133

発行
日野市
環境共生部
緑と清流課

環境月間の報告

環境共生部として2度目となる環境月間は「水と緑を引き継ぐまち ひの」をテーマに、広く環境に関する催しを行ってまいりました。

緑と清流課においては、例年に引き続き ①緑と清流ポスターの展示 ②ミニ水族館 ③日野用水クリーンデーを実施いたしました。今年度の活動をそれぞれご紹介します。

1 緑と清流ポスターの展示

市内の小・中学校の生徒が「緑と清流」をテーマに描いたポスターを市役所本庁1階に展示しました。

日程：(小学生の部) 10月2日～10月13日 (中学生の部) 10月16日～10月27日

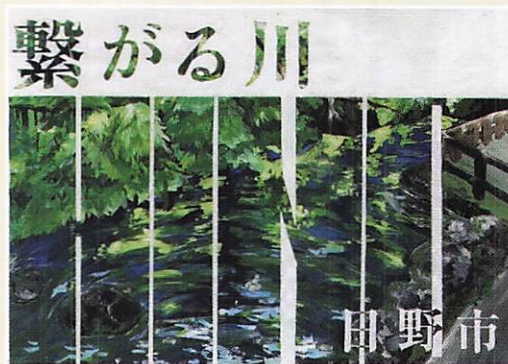
※受賞作品は2、3面でも紹介しています。

小学生の部 最優秀賞



南平小学校 會田 花奏

中学生の部 最優秀賞



日野第三中学校 村松 裕香

2 ミニ水族館

環境月間中、市内の用水路に生息する水生生物を本庁1階に展示しました。

日程：
10月2日～27日



ミニ水族館の様子

3 日野用水クリーンデー

市民の方の参加を募り日野駅からよそう森公園にかけて、日野用水の清掃活動をおこなう催しです。今年度は、約30名の市民の方に参加していただきました。ご協力ありがとうございました。

日程：10月7日

その他の催し

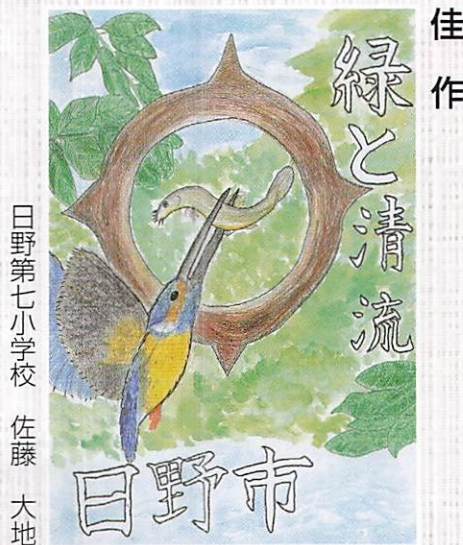
- ・夏休みごみ探検隊 (施設課) 7月25日、7月26日、7月27日
- ・クリーンセンター環境展 (ごみゼロ推進課) 10月3日～10月29日
- ・ごみ減量ポスター展 (施設課) 11月1日～11月16日



スター

日野市環境月間の行事として、市内の小・中学校の子どもたちへ緑と清流に関するポスターを募集しました。令和5年度も901点の応募があり、その中から選ばれた作品です。身のまわりの水辺や緑へ対する子どもたちの思いが描かれています。

小学生の部



令和5年度

緑と清流水

中学生の部

繋がる川

日野第三中学校 村松 裕香



最優秀賞

優秀賞



日野第三中学校 中村 南美



優秀賞

日野第三中学校 福島 里依



日野第三中学校 藤田 珠摘

佳作



日野第三中学校 戸田 侑那

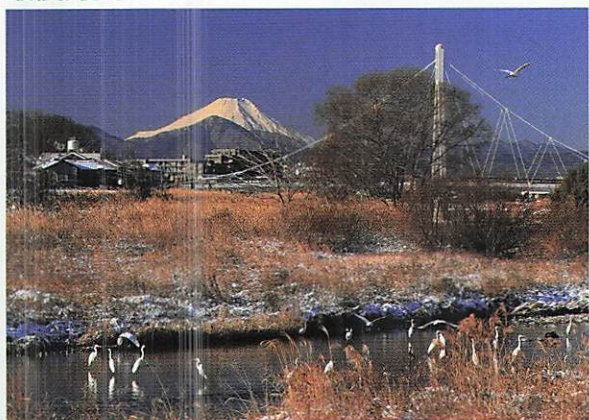
佳作

ール ～しぜん・ひと・まち～

〈入選作品展示予定〉

- ・令和6年(2024年)1月17日(水曜日)～1月30日(火曜日)
南平体育館 エントランスホール
 - ・令和6年(2024年)2月1日(木曜日)～2月14日(水曜日)
イオンモール多摩平の森 3階 プティマイン前
 - ・令和6年(2024年)2月15日(木曜日)～2月28日(水曜日)
平山^{すえしげ}季重ふれあい館 1階 平山図書館
- ※八王子市での展示についてはホームページをご確認ください。

最優秀賞



『冬のあさ川情景』

伊藤 宏

優秀賞



『捕れるかな』

岸田 隆雄

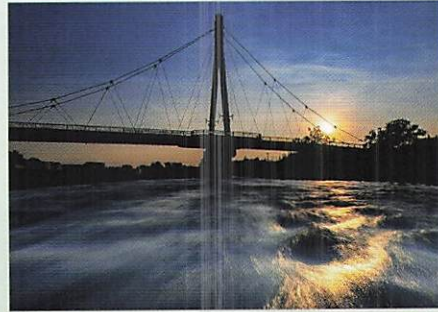
優秀賞



『夏雲に覆われて』

植田 堅朗

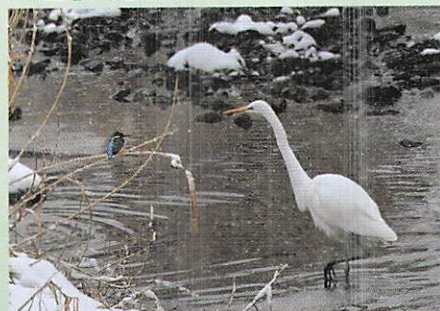
日野市長賞



『サンセットロード』

佐々木 陽介

八王子市長賞



『今日は寒いね～』

古屋 博

コニカミノルタ賞



『夫婦ジャンプ』

渡辺 邦昭

京王電鉄賞



『みんなの浅川』

渡邊 敦子

一般の部

最優秀賞

伊藤 宏 冬のあさ川情景

優秀賞

岸田 隆雄 捕れるかな

植田 堅朗 夏雲に覆われて

日野市長賞

佐々木陽介 サンセットロード

八王子市長賞

古屋 博 今日は寒いね～

佳作

中西 隆 巨岩砕く

池内瑠莉愛 学校帰り

星野 郁男 釣り人

箕箸 俊一 水に浮く訓練

峰尾 敏彦 桜の夜

設楽 誠一 浅川、春の日の入り

佐田 浩一 光芒と鳥の群れ

ブラウンシュレイ 平山橋

須崎 幸男 川 霧

企業賞

コニカミノルタ賞

渡辺 邦昭 夫婦ジャンプ

京王電鉄賞

渡邊 敦子 みんなの浅川

第12回 あさかわ写真コンク

中学生以下の部

最優秀賞

佐々木結衣 淡い時間

優秀賞

谷光実咲希 未来へ続く浅川

山本 彩生 清

日野市長賞

小島 輝哉 雪化粧

八王子市長賞

大塚 智暉 トンネル桜の散歩道

佳作

柳澤 諒 濃緑のトンネル

石樵 美玖 夕日と浅川

長友 莉里 「今日も一日おつかれさま」

坪内 優太 Reiwa JUMP

依田 沙樹 魚が見た川の景色

松田 雅 ねえ、何話してるの？

笠井 佑衣 「さぁ帰ろう。」

渡邊絵梨奈 約束の花

中西 陽和 臨戦態勢

山中萌丹桂 浅川の現在

金子 拓未 川沿いの草

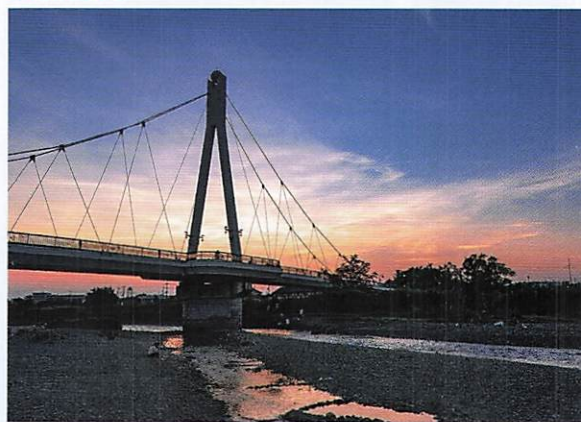


あさかわ写真コンクールは、日野市と八王子市の両市を流れる浅川を、源流から多摩川の合流点までひとつの流域として捉え、良好な水辺環境と心豊かな浅川流域のまちづくりを目指すため、浅川流域連携事業のひとつとして行っている催しです。

今年で12回目を迎えたあさかわ写真コンクールですが、今年は265作品の応募があり、それぞれに撮影者の浅川に対する思いを感じることができました。審査の結果32作品を入選作品としました。今回スペースの都合で載せることができていない作品や各作品への思い、撮影時期、撮影場所はホームページで公開しております。

また、日野市では右記の日程で入選作品の展示を行う予定です。機会がありましたらお立ち寄りください。

最優秀賞



『淡い時間』

佐々木 結衣

優秀賞



『未来へ続く浅川』

谷光 実咲希

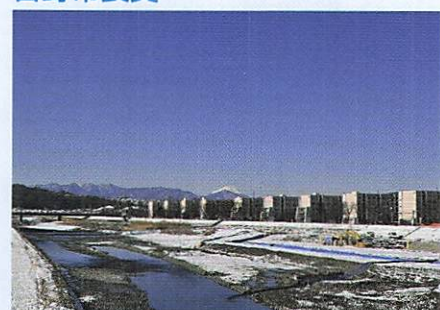
優秀賞



『清』

山本 彩生

日野市長賞



『雪化粧』

小島 輝哉

八王子市長賞



『トンネル桜の散歩道』

大塚 智暉

● 作品応募期間 令和5年(2023年)7月1日～8月31日

● 応募作品数	一般の部	229作品
	中学生以下の部	36作品
	計	265作品



あさかわ写真コンクール結果

<https://www.city.hino.lg.jp/kurashi/kankyo/mizumidori/asakawa/1025187/index.html>



市の花「菊」の祭典

日野市では10月下旬から11月中旬にかけて、菊花展、菊花コンテストなど、菊にまつわる祭典が開催されました。今年は夏以降の猛暑の影響で非常に厳しい育成環境でしたが、携わる方々の長年の経験による栽培の工夫や、丹精込めた土・肥料づくりのおかげで開催に伴い一斉に開花いたしました。日野中央公園のステージを中心に古典菊、福助、ダルマや人形など、多くの作品を展示することができました。

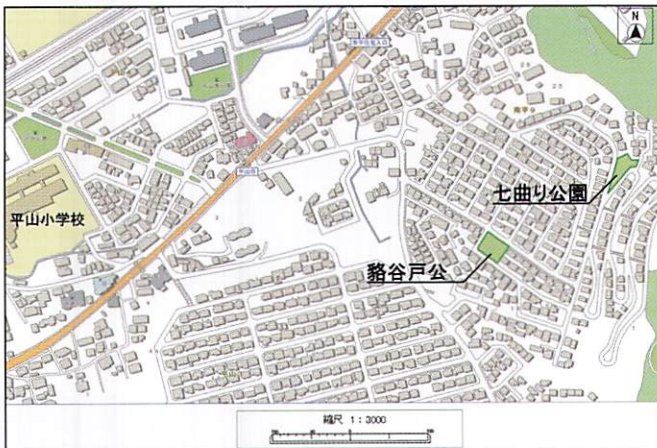
また、高幡不動尊では、多摩地域最大の規模である「菊まつり」が今年も開催され、たくさんの方々の菊花で境内が埋め尽くされました。写真は高幡不動尊の「千輪咲き」、日野中央公園のステージ上の作品になります。



千輪咲き



日野中央公園ステージ上(人形)



(C) 2017 PASCO CORPORATION.
 (C) 2017 INCREMENT P CORPORATION.
 いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。



● 貉谷戸公園 (街区公園78)

所在地：南平九丁目16番10/面積：882㎡/開園日：昭和57年7月1日

このあたりの村々では、たぬきを指して貉と呼んでいました。

この公園のあるところは、多摩丘陵に入り込んだ谷戸の入口に

あたり、その谷戸には昔からむじなが多くすみついていたので、村の人々はむじな谷戸と呼びなしていました。



● 七曲り公園 (街区公園79)

所在地：南平九丁目1番14/面積：773㎡/開園日：昭和57年7月1日

この公園のすぐ東上に、南平の村から程久保の長谷戸(現多摩動物公園)に通じる

細い山道があります。その道は周辺でもまれな急坂で、曲がり曲がって登らなければならなかったことから七曲と呼んでいました。この山道は南平の人たちが山仕事に通い、程久保の人たちが豊田村や八王子に出かけるための大事な交通路でした。

清流ニュースにひとこと

清流ニュースに、「こういう記事を載せて欲しい!」や「こんなイベントを企画して欲しい!」など、皆さんからのご意見・ご要望を募集したいと思います。次号以降の清流ニュースの編集の参考にさせていただきます。

宛先

(お手紙、FAX、メール等でお願ひします)

日野市役所 環境共生部 緑と清流課
 清流ニュース担当宛て

〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1
 FAX 042-581-2516
 メール seiryu@city.hino.lg.jp

秋の市内一斉清掃

市では、「日野市みんなでまちをきれいにする条例」に基づき、毎年5月（春）と11月（秋）の最終日曜日を「市内をみんなできれいにする日」としています。

市内一斉清掃は自治会、学生ボランティア等、様々な団体の方々にご協力をいただいております。

当日は、開始直後に小雨が降りましたが、自治会、学生ボランティアや個人での参加者も増え、前回の春と同じぐらいの参加水準となりました。この活動を今後の地域の美



化活動を進めるきっかけとして、また、皆さんの交流を深め地域のつながりを強めるきっかけづくりとしていただければ幸いです。

次回は、令和6年5月26日（日）に春の市内一斉清掃を予定しています。

引き続き、ご協力お願いします。
【環境保全課】

**令和5年度
秋の一斉清掃**

参加団体（組）	335	
参加人数（人）	18,972	
収集量（kg）	可燃	28,350
	不燃	620



水辺のある風景 日野50選
選ばれた水辺を紹介します

④根川下流一桜の名所

日野用水上堰は中央高速道路をくぐるあたりから日野用水下堰と合流し準用河川*の根川となります。根川は根川大橋で上田用水が流入、浅川水再生センターからも処理水が流入し、しばらく多摩川に並行して流れ、最後に合流し

ます。雨水排水路でもあるため3面コンクリートの人工的な川ですが、下流は桜が植えられ、日野の桜の名所でもあります。春は花見客で賑わいます。さらに下流に行くと自然の緑豊かな場所となります。普段は訪れる人の少ない場所ですが、水辺に近づきやすくするなど工夫をすれば、親しめる水辺になると思います。

*準用河川とは、一級、二級以外で市町村長が指定し管理する河川です。

⑤多摩川・浅川合流点

日野は二つの河川、多摩川と浅川の浸食によりできたといっても過言ではありません。その河川が合流する場所は、地勢的なことだけでなく、源流が異なる多摩川と浅川の二つの河川の歴史や文化が結合、新たな日野の文化が生まれる地であることを象徴しています。

堤防ができるまで合流点は氾濫原のため一面河原でした。



桜の名所、根川



今でも空、山の稜線、川の空間とはるか遠望を見渡せるとともに川の表情、河原の植物、生きものなどに指定されています。

合流点に近い多摩川右岸は、多摩川河川環境計画において生態系保持空間に指定されています。



小さな湧水の たくさんの生きもの

水の郷である日野市には、約200か所もの湧水が湧き出しています。その中でも、黒川湧水や中央図書館下湧水、小沢緑地の湧水は、「東京の名湧水57選」に選ばれ、日野市を代表する湧水となっています。

● 小さな小さな湧水

一般的に湧水と言えば、これらの湧水のように豊富に水

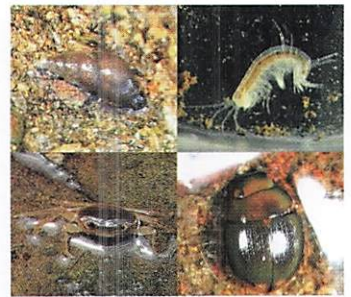


擁壁から染み出す湧水

が湧き出す様子が思い浮かべられるかもしれませんが。しかしそれだけでなく、地面を濡らすようにわずかに染み出す水や、溝をチョロチョロ流れる程度の水でも、立派な湧水と言えます。台地や丘陵地のある起伏に富んだ地形を持つ日野市では、崖線沿いや丘陵の各地でこのようなごく小規模の湧水を見つけることができます。特に住宅街の擁壁や法面、トンネルや半地下の駐車場の壁面、道端の側溝の中など、身近な場所からもたくさん湧き出しています。

● 身近な湧水に 暮らす生きもの

このような場所では一見すると生きものの姿は見えないかもしれませんが、よく探すと小さなカゲロウやカワゲラ、トビケラ、ガムシの仲間などの水生昆虫、ワラジムシの仲間であるミズムシ、カワニナやモノアラガイなどの巻貝など、様々な生きものを見



左上からカワニナ、地下水生ヨコエビ、サワガニ、コマルシジミガムシ

つけることができます。また水質の良い湧水では、再生能力を持つことで知られるプランリア(ナミウズムシ)やサワガニが生息していることもあります。さらに面白いところでは、日野台地周辺では地下水の中に暮らし目が退化した、地下水生のヨコエビの間が見つかることもあります。また、時に周囲に生える緑の苔も見どころでしょう。

● 街中のオアシス

コンクリートに覆われた街中では、わずかでも水が染み出すこのような湧水は、生きものにとってはオアシスのような場所かもしれません。開発によって水場が失われた住



サワガニが暮らす側溝

宅街でも、わずかに染み出す水を頼りにサワガニが生き残っている場所もいくつもあります。一方でこのような湧水は、水の成分や藻で壁面が汚れてしまったり、道路が濡れたり凍ったりして滑りやすくなったりしてしまうなど、我々にとって悪い影響を与えてしまうこともあります。それでも、市内各地にこれだけ豊かな水資源が存在するという事は日野市の特色でもあり、生きものにとっては大切な生息場所です。街中で水が染み出しているのを見つけたら、身近な湧水に暮らす小さな生きものたちにも思いをはせてみてください。

文・写真 日野の自然を守る会

片山 敦

あとがき

本紙を手にとっていただいている皆様、ご高覧いただきありがとうございます。

このあとがきを書いている12月上旬は、朝は3度程度しか寒い日もあり、この1カ月で急に寒くなったと感じます。しかし、寒暖差のある日本の気候のおかげで見られる景色もあります。本紙でも紹介している緑と清流ポスター、あさかわ写真コンクールでは、四季折々の美しい自然を切り取った作品が毎年応募され、同じ場所でも季節や時間帯によって全く違う印象を受けます。日野市にはそんな姿を変える自然がたくさんあります。毎日の通勤、通学路、散歩道で周りの景色に目を向けてみてください。きっと1カ月後にはまた違った顔を見せてくれています。そんな自然を見続けることができるように今後ともご理解ご協力をお願いいたします。